

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年2月2日（金）

2 確認箇所

日本海溝津波防潮堤設置工事現場（1～4号機東側、4号機南側）

3 確認項目

日本海溝津波防潮堤設置工事の状況

4 確認結果の概要

令和2年4月に内閣府「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会」が日本海溝津波の発生が切迫していると評価したことを踏まえ、東京電力は、T.P. 11.8m規模と想定される日本海溝津波に対する備えとして、日本海溝津波防潮堤の設置を進めている。

本日は、日本海溝津波防潮堤工事（1～4号機東側、4号機南側）の状況について確認を行った。（前回確認：[令和5年11月29日](#)）（図1）

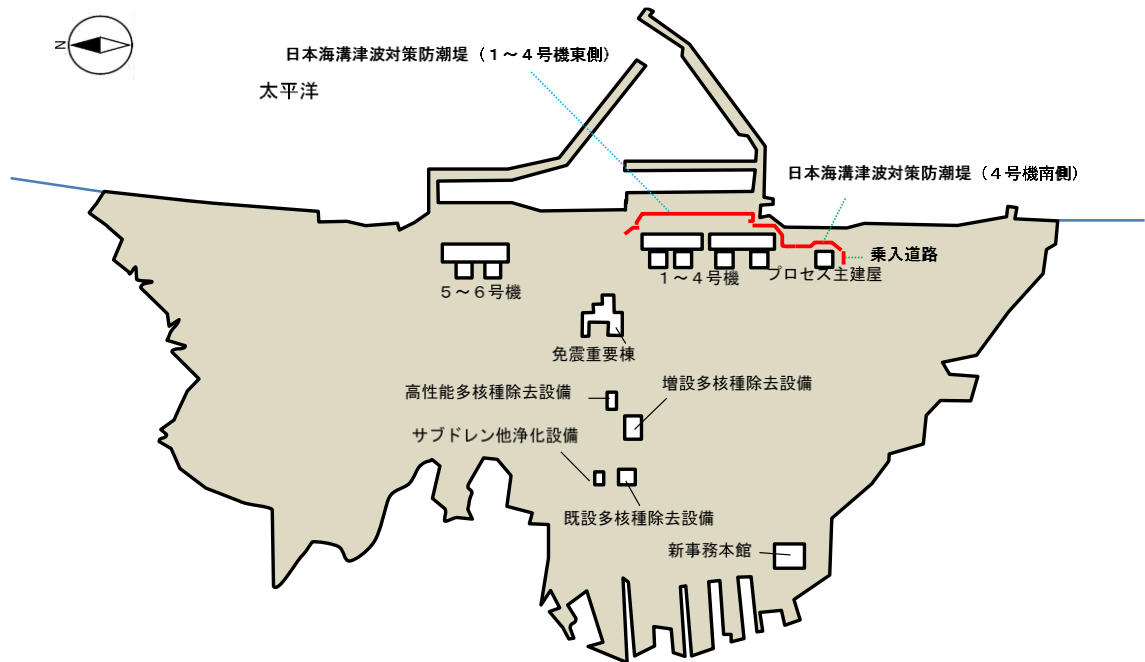
（1～4号機東側）

- ・1号機タービン建屋北側において、防潮堤の構築作業が進められていた。（写真1）
- ・1～3号機タービン建屋東側は、防潮堤本体の構築が概ね完了していた。（写真2）
- ・4号機タービン建屋東側において、防潮堤本体のアッシュクリート[※]打設が重機により行われていた。（写真3）

（4号機南側）

- ・4号機タービン建屋南側において、既設アウターライズ津波防潮堤を補強するため、アッシュクリートの打設が進められていた。（写真4）
- ・プロセス主建屋東側においてアッシュクリートを打設した上にアスファルト舗装が進められていた。（写真5）
- ・プロセス主建屋東側において防潮堤の上部道路へアクセスするための乗入道路の整備が進められていた。（写真6）
- ・東京電力によると、防潮堤は2023年度末に完成する予定。

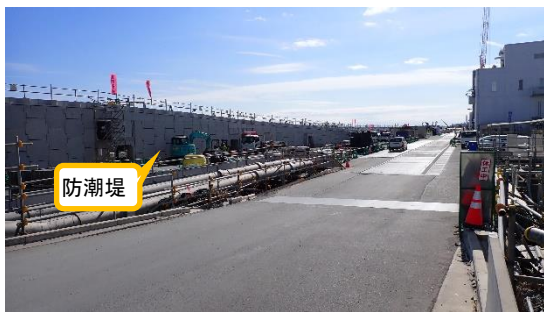
※ 福島第一原子力発電所に隣接して建設されたバッチャープラントで製造した石炭灰混合資材（石炭灰とセメントを混合させた人工地盤材料）。防潮堤構築のための盛土材として使用されている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
防潮堤の状況
(1号機タービン建屋北側)
(南側から撮影)



(写真2)
防潮堤の状況
(1~3号機タービン建屋東側)
(北側から撮影)



(写真3)
防潮堤本体の施工状況
(4号機タービン建屋東側)



(写真4-1)
防潮堤の状況 (令和5年8月2日)
(4号機タービン建屋南側)
(北側から撮影)



(写真4-2)
防潮堤の状況 (令和5年11月29日)
(4号機タービン建屋南側)
(北側から撮影)



(写真4-3)
防潮堤の状況 (今回撮影)
(4号機タービン建屋南側)
(北側から撮影)



(写真5)
防潮堤の状況
(プロセス主建屋東側)
(南側から撮影)



(写真6)
乗入道路の整備状況
(プロセス主建屋南側)
(東側から撮影)

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。